

# 2006年度 連結決算 ご説明資料

2007年4月27日  
新日鐵化学株式会社  
: 03-5207-7600

## 1. 2006年度決算概況

当期のわが国経済は、好調な輸出、民間設備投資の増加、個人消費の回復に支えられ、緩やかな景気拡大が続きまして。当社におきましては、コールケミカル、化学品事業では、国内外の旺盛な需要を背景に製品市況は堅調に推移し、原料価格高騰などの収益悪化要因を吸収しました。また、電子材料・機能樹脂事業でも、前期並みの売上規模となりました。

この結果、当社の2006年度連結売上高は3,187億円、連結経常利益は263億円（過去最高）の増収増益となりました。また、当期のROSIは8.3%、当期末の連結有利子負債残高は634億円となりました。

### (1) 連結損益状況 (億円)

	2005年度	2006年度	差異
売上高	2,985	3,187	202
営業利益	221	265	44
経常利益	224	263	39
特別損益	2	17	×15
法人税、税効果等	78	110	×32
少数株主損益	13	23	×10
当期純利益	131	113	×18
ROS(経常利益/売上高)	7.5%	8.3%	0.7%

#### <事業の選択と集中>

- ・光ガス事業のIP・ウォーターへの譲渡(06.10)
- ・塗料事業の大日本塗料への譲渡(06.10)
- ・新日化環境ENGと環境ENGとの合併(06.10)
- ・メーソ樹脂コパ・ウト事業の三井物産Grへの譲渡(06.12)
- ・コーク事業の新日鐵への分割承継(07.7予定)

#### <会計方針の変更>

- ・減価償却方法:定額法 定率法(コーク等は定額法)
- ・棚卸資産の評価方法:主として後入先出法 総平均法

	2006.3末	2007.3末	増減
有利子負債	850	634	216

### (2) セグメント別売上高・経常利益 (億円)

		2005年度	2006年度	差異	主要製品 (2007年4月1日付組織改正準拠)
コークミカル	売上高	約1,200	約1,200	○0	高炉用コーク、鋳物用コーク、製鉄用ガス ピッチコーク、ピッチ、95%ナフリン、無水フタル酸 カーボンブラック、特殊炭素製品
	経常利益	約120	約140	約○20	
化学品	売上高	約1,100	約1,500	○400	芳香族、スレンエマー、ビスフェノールA、機能性化学品等
	経常利益	約70	約110	約○40	
電子材料・ 機能樹脂	売上高	約500	約500	○0	2層CCL(エパネックス)、HDDガスベリオン材料 LCDカーフィルター用レジスト、有機EL材料、半導体実装材料 MS、ABS、エポキシ樹脂
	経常利益	約30	約10	約×20	
連結計	売上高	2,985	3,187	○202	
	経常利益	224	263	○39	

### (3) 連結キャッシュ・フロー (億円)

	2005年度	2006年度
現金・現金同等物の期首残高	37	25
経常利益	(224)	(263)
税金等調整前当期純利益	222	246
減価償却費	93	107
事業構造改善費用の戻し	8	6
売上債権・仕入債務増減他	76	121
営業活動によるキャッシュ・フロー A	247	238
固定資産取得	81	64
固定資産・投資有価証券売却他	31	34
投資活動によるキャッシュ・フロー B	50	30
借入金返済	210	208
少数株主への配当		4
財務活動によるキャッシュ・フロー	210	212
範囲変更/換算差額	1	0
現金・現金同等物の期末残高	25	21
フリーキャッシュフロー A+B	197	208

### (4) 経済指標・製品価格他

	2005年度実績			2006年度実績		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
為替 (円/\$)	109	117	113	115	119	117
原油 (\$/BBL)	52.9	58.6	55.8	68.0	59.3	63.7
ナフ (\$/BBL)	52.5	61.0	56.8	68.1	62.4	65.3
国産ナフ (千円/kl)	38.0	46.8	42.4	51.4	48.6	50.0
SM台湾CIF (\$/t)	1,050	1,010	1,030	1,220	1,280	1,250
BPA中国CIF (\$/t)	1,560	1,170	1,365	1,400	1,700	1,550

(億円)

	2005年度	2006年度
設備投資額	80	46
減価償却費	93	107
研究開発費	39	48
金融収支(負担金利)	7	7

\* いずれも連結ベース

## (5) 資産 / 負債状況

(億円)

科目	2007.3末	2006.3末	増減	科目	2007.3末	2006.3末	増減
<b>流動資産</b>	957	775	182	<b>流動負債</b>	1,070	1,083	-13
内、現金預金	16	15	1	内、支払手形・買掛金・未払費用	610	512	98
受取手形・売掛金	471	390	81	短期借入金	336	439	-103
棚卸資産	241	209	32	<b>固定負債</b>	454	567	-113
繰延税金資産	12	10	2	内、長期借入金	298	411	-113
その他	217	151	66	退職給付引当金	128	127	1
<b>固定資産</b>	1,246	1,412	-166	繰延税金負債	15	15	0
内、有形固定資産	808	918	-110	<b>負債計</b>	1,524	1,650	-126
無形固定資産	0	1	-1	<b>株主資本</b>	585	472	113
投資その他の資産	438	493	-55	内、資本金	50	50	0
(投資有価証券)	(203)	(207)	(-4)	資本準備金	83	83	0
(繰延税金資産)	(174)	(224)	(-50)	利益剰余金	452	339	113
(その他)	(61)	(62)	(-1)	<b>評価・換算差額</b>	46	36	10
<b>資産合計</b>	2,203	2,187	16	<b>少数株主持分</b>	48	29	19
				<b>純資産計</b>	679	537	142
				<b>負債純資産合計</b>	2,203	2,187	16
				有利子負債 合計	634	850	-216
				D/E比率	1.0倍	1.7倍	
				株主資本比率	28.6%	23.2%	

## 2. 2007年度見通し

2007年度につきましても、わが国経済は好調な企業収益を背景に、景気拡大が続くものと見込まれます。当社では、7月にコークス事業の新日本製鐵への統合を予定しています。こうした中、4月1日付で、中核事業の安定的成長、電子材料・機能樹脂事業の拡大に向けた取組強化、新規事業開発のスピードアップ、製造実力の強化を狙いとして、事業部、研究所、製造所体制等の組織改正を実施しました。

## (1) 連結損益状況

(億円)

	2006年度 年度	2007年度 年度	中計 2008	グランドデザイン 2010
売上高	3,187	2,600	2,900	
経常利益	263	220	250	300
ROS	8.3%	約8%	9%	10%以上
有利子負債	634	350	400	
株主資本比率	28.6%	約40%	42%	50%
D/E比率	1.0倍	0.5倍	0.5倍	

## (2) セグメント別売上高・経常利益

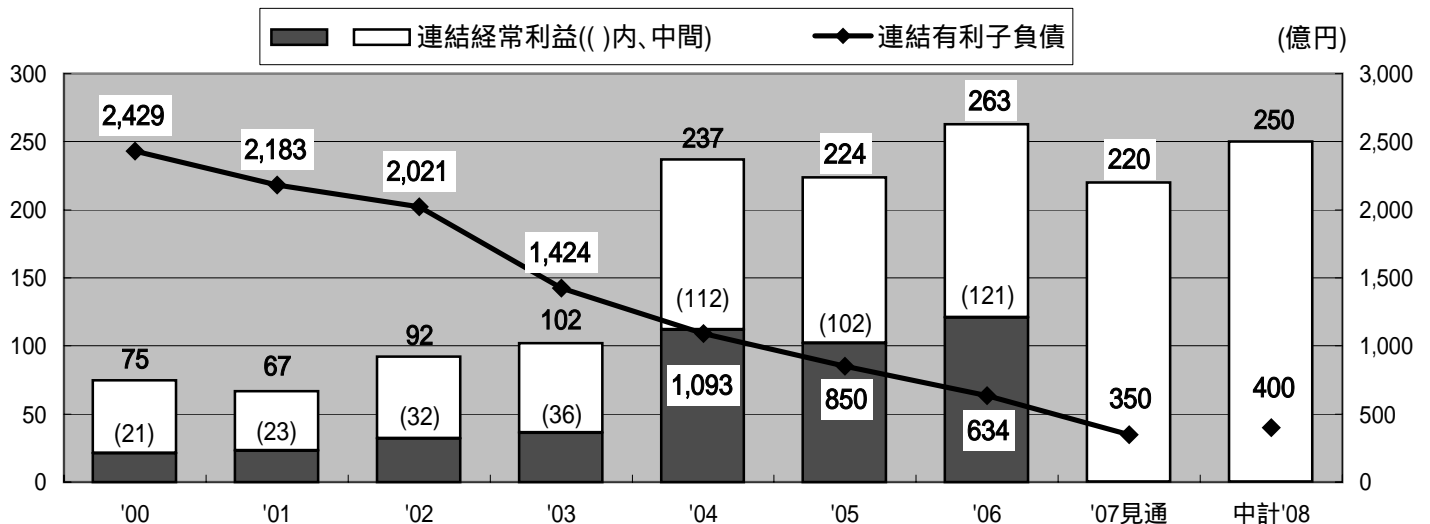
(億円)

	2006年度実績		2007年度見通し	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
コルクミカ	約1,200	約140	約700	約120
化学品	約1,500	約110	約1,400	約90
電子材料・機能樹脂	約500	約10	約600	約30
<b>連結計</b>	<b>3,187</b>	<b>263</b>	<b>2,600</b>	<b>220</b>

## (3) 経済指標・製品価格他

(億円)

	2006	2007		2006	2007
	下期実績	上期見通し		実績	計画
為替 (円/\$)	119	115	設備投資額	46	70
国産力材 (千円/kL)	48.6	55.0	減価償却費	107	91
SM台湾CIF (\$/t)	1,280	1,300	研究開発費	48	56
BPA中国CIF (\$/t)	1,700	1,800	金融収支(負担金利)	7	8



## 2006年度の概況について

### 1. コールケミカル事業

コールケミカル事業については、原料価格の上昇が収益悪化要因となりましたが、世界経済の拡大により、95%ナフタリン、無水フタル酸等の製品市況は上昇しました。需給引き締まりを背景に、人造黒鉛電極用ニードルコークス、カーボンブラックオイル等についても、製品価格の値上げを進めて参りました。当年度より本格販売を開始しました石炭系ニードルコークス LPC-US は、石油系に匹敵する品質との評価を内外のユーザーより頂いており、需要も順調に伸びております。また、特殊炭素製品については、半導体・ソーラー発電等向けの旺盛な需要に応えるため、能力増強（年 3,500 t、年 4,500 t、2007 年 7 月完工予定）を進めております。

高炉用コークスについては、鉄鋼生産が高水準で推移したことから、引続きフル操業の状況が継続しております。鋳物用コークスについても、ほぼ前年度並みの販売量となりました。なお、コークス事業は、本年 7 月、会社分割により、新日本製鐵に統合予定です（統合影響：売上高年約 600 億円、総資産約 300 億円の減）。

### 2. 化学品事業

原油・ナフサ価格の高騰が続きましたが、アジア地区の旺盛な需要により、SM・BTX 等の製品市況は堅調に推移しました。このうちトルエンについては、夏場の米国でのガソリン向け需要増により、アジア市況が上昇し、収益増に貢献しました。こうした中、当社は芳香族製品の製造・供給体制強化のため、大分製造所の芳香族原料処理設備の増強（増強後原料処理量：年 41 万 t、2006 年 4 月稼動）に引き続いて、大分製造所のトルエン専用大型タンクの新設（6,000K<sup>3</sup>、07 年 11 月完工予定）広畑製造所のベンゼン設備の増強（増強後原料処理量：年 10 万 t、08 年 7 月完工予定）を進めております。足元、ナフサ価格が高騰しており、製品価格の改善が課題となっております。

### 3. 電子材料・機能樹脂事業

エスパネックスについては、携帯電話の高機能化が当社の想定どおり進まなかった中で、2 層 CCL 市場での競合激化、ユーザーでの使用原単位の改善が進んだこと等から、販売量は前年度並みに止まりました。引続き、ユーザーのニーズにきめ細かく対応し、十分な生産能力（年 850 万 m<sup>2</sup>、木更津・戸畑の 2 拠点体制）を活して、拡販を図っていく考えです。

液晶カラーフィルター用レジストインクのうちブラックマトリックスについては、国内ユーザーより品質評価を頂き、下半期以降、販売量は順調に増加しております。有機 EL 材料については、米国 UDC(Universal Display Corporation)との連携により、緑色燐光材料の新商品を開発するとともに、赤色燐光材料でも、駆動寿命や輝度効率などで従来を大きく上回る高性能化を実現しました。引続き「青色燐光材料」の開発に注力し、フルカラー燐光有機 EL 材料のラインアップを目指していきます。

エポキシ樹脂については、環境への関心の高まりを背景にハロゲン物質の使用を控える動きが加速しており、ハロゲンフリーのリン系難燃エポキシ樹脂生産体制の増強を行いました（増強後生産能力：年 6,000 t、2006 年 7 月完工）。



## 06年度 連結決算概要

## 1. 損益状況

(単位: 億円)

	03年度 (H15)	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度 (H19)
売上高	2,220	2,706	2,985	3,187	2,600
営業利益	137	260	221	265	225
経常利益	102	237	224	263	220
当期純利益	78	208	131	113	N.A
ROS(売上高経常利益率)	4.6%	8.8%	7.5%	8.3%	約 8%

## 2. 貸借対照表

(単位: 億円)

	03年度 (H15)	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)
流動資産	747	820	775	957
有形固定資産	1,026	978	918	808
無形固定資産	2	1	1	
投資等	490	518	493	438
資産 計	2,265	2,317	2,187	2,203
有利子負債	1,421	1,091	850	634
その他負債	695	855	800	890
少数株主持分	4	16	29	48
資本	145	355	508	631
負債・少数株主持分・資本計	2,265	2,317	2,187	2,203
株主資本比率	6.4%	15.3%	23.2%	28.6%

## 3. キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	03年度 (H15)	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)
営業キャッシュ・フロー	214	397	247	238
投資キャッシュ・フロー	39	54	50	30
(フリーキャッシュ・フロー)	175	343	197	208
財務キャッシュ・フロー	221	351	210	212
その他	3	1	1	-
現預金等増減	49	8	12	4

## 4. 主要指標

		03年度 (H15)	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度 (H19)
設備投資額	億円	91	115	80	46	70
減価償却費	億円	106	96	93	107	91
研究開発費	億円	32	33	39	48	56
金融収支(負担金利)	億円	20	12	7	7	8
期末有利子負債残高 ( " 対前期増減)	億円	1,424 ( 597)	1,093 ( 331)	850 ( 243)	634 ( 216)	350 ( 284)
為替レート	円/US \$	114.0	107.5	113.0	117.0	(上期)115.0
国産ナフサ価格	千円/KL	25.7	32.2	42.4	50.0	(上期) 55.0

注) 設備投資額は、有形・無形固定資産増減(建設仮勘定編入)ベース。

研究開発費は、費用算入ベース。

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (07.3.31現在)	前 期 (06.3.31現在)	増 減	科 目	当 期 (07.3.31現在)	前 期 (06.3.31現在)	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	95,700	77,506	18,193	流動負債	107,046	108,326	1,279
現金及び預金	1,577	1,537	39	支払手形及び買掛金	49,122	39,962	9,160
受取手形及び売掛金	47,123	39,028	8,095	短期借入金	33,649	43,858	10,208
たな卸資産	24,075	20,882	3,193	未払費用	11,916	11,236	680
その他	22,979	16,106	6,873	事業構造転換損失引当金	-	187	187
貸倒引当金	(-) 55	(-) 47	8	その他	12,357	13,081	724
固定資産	124,687	141,263	16,577	固定負債	45,338	56,684	11,346
有形固定資産	80,808	91,837	11,028	長期借入金	29,792	41,113	11,321
建物及び構築物	22,306	24,949	2,642	再評価に係る繰延税金負債	1,532	1,532	0
機械装置及び運搬具	39,228	44,326	5,098	退職給付引当金	12,794	12,667	126
土地	17,433	18,661	1,227	その他	1,219	1,371	152
その他	1,839	3,899	2,059	負債合計	152,385	165,011	12,626
無形固定資産	30	48	17	(純資産の部)			
投資その他の資産	43,848	49,377	5,528	資本金	5,000	5,000	-
投資有価証券	20,294	20,701	406	資本剰余金	8,284	8,284	-
繰延税金資産	17,364	22,366	5,001	利益剰余金	45,198	33,942	11,256
その他	7,055	7,281	225	株主資本合計	58,483	47,226	11,257
貸倒引当金	(-) 865	(-) 971	106	その他有価証券評価差額金	2,888	2,454	434
				土地再評価差額金	1,757	1,757	0
				為替換算調整勘定	1	627	625
				評価・換算差額等合計	4,644	3,584	1,058
				少数株主持分	4,875	2,946	1,928
				純資産合計	68,003	53,756	14,246
資産合計	220,388	218,769	1,619	負債純資産合計	220,388	218,769	1,619

(旧基準の純資産) (63,127) (50,811) (12,315)

## 連結損益計算書及び連結剰余金計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (06.4.1~07.3.31)		前 期 (05.4.1~06.3.31)		増 減
	金 額	%	金 額	%	金 額
売 上 高	318,776	100.0	298,508	100.0	20,268
売 上 原 価	270,393		254,265		16,128
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	21,826		22,104		277
営 業 費 用	292,219		276,369		15,851
営 業 利 益	26,556	8.3	22,138	7.4	4,417
受 取 利 息	59		17		42
受 取 配 当 金	151		121		29
為 替 差 益			810		810
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,063		1,252		188
そ の 他	756		747		9
営 業 外 収 益	2,031		2,948		917
支 払 利 息	713		728		15
そ の 他	1,535		1,917		382
営 業 外 費 用	2,248		2,646		398
営 業 外 損 益	217		302		520
経 常 利 益	26,338	8.3	22,441	7.5	3,896
固 定 資 産 売 却 益	217				217
投 資 有 価 証 券 等 売 却 益	96		984		888
償 却 済 債 権 回 収 益			117		117
特 別 利 益	313		1,101		788
固 定 資 産 減 損 損 失	1,315				1,315
投 資 有 価 証 券 売 却 損 失	37		441		405
投 資 有 価 証 券 等 評 価 損 失	81				81
事 業 構 造 改 善 費 用	581		818		237
特 別 損 失	2,016		1,260		756
特 別 損 益	1,702		158		1,544
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	24,635	7.7	22,282	7.5	2,352
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	5,052		3,518		1,534
法 人 税 等 調 整 額	5,988		4,304		1,683
少 数 株 主 利 益	2,338		1,318		1,019
当 期 純 利 益	11,256	3.5	13,140	4.4	1,884

## 連結剰余金計算書

	当 期 (06.4.1~07.3.31)	前 期 (05.4.1~06.3.31)	増 減
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	8,284	8,284	-
資 本 剰 余 金 期 末 残 高	8,284	8,284	-
(利益剰余金の部)			
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	33,942	20,756	13,185
当 期 純 利 益	11,256	13,140	1,884
連 結 範 囲 の 変 更 に 伴 う 増 加 高	-	44	44
土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 に よ る 増 加 高	-	-	-
利 益 剰 余 金 増 加 高	11,256	13,185	1,929
連 結 範 囲 の 変 更 に 伴 う 減 少 高	-	-	-
利 益 剰 余 金 減 少 高	-	-	-
利 益 剰 余 金 期 末 残 高	45,198	33,942	11,256

